

平成26年度農地中間管理事業 事業評価結果

		評価機関	公益財団法人香川県農地機構 農地中間管理事業評価委員会	
評価項目		採点	評価の理由及び考え方	
1	事業の緊急性・必要性	5	○農業従事者の高齢化や耕作放棄地の増加が急速に進行している本県の実態や米をはじめとする農産物価格の長期低迷などの情勢を考慮すれば、担い手への農地の利用集積や経営農地の集約化・団地化によるコスト低減は、本県が最優先で取り組むべき緊急の課題である。	
2	事業計画の妥当性	4	○農林水産省から提示された年間集積目標1, 270haは非常に大きな数値であり、達成するためのハードルは高いが、目標実現に向けて確実に事業を進める必要がある。集落営農法人や新規就農者への集積を優先的に進める手法は妥当である。	
3	事業の進捗状況 (目標に対する達成度)	3	○平成26年度の進捗状況は低調であったが、事業がスタートして初年度目であり、年度の前半は制度の周知徹底や事業推進体制の整備に要したことを考慮すれば、次年度以降はこれまで以上に進むことが期待される。	
4	事業の成果の波及効果	4	○当機構を介さないものも含めた平成26年度の担い手への集積面積は9, 074ha(集積率29.1%)と、前年に比べて646ha(集積率2.3%)増加。当該事業を推進する中で、農地に対する関心が高まり、地域の話し合いが進んだ。	
計 (D)		16	評価値	(D)/20×100=80
評価項目		評価基準(各項目5段階評価:合計20点)		
1 事業の緊急性・必要性 ○農業者や農村地域のニーズや社会経済情勢の変化に的確に対応しているか。		5	大いに認められる	
		4	かなり認められる	
		3	認められる	
		2	あまり認められない	
		1	認められない	
2 事業計画の妥当性 ○事業対象は妥当であるか。 ○当初の計画を変更する必要はないか。		5	大いにある	
		4	かなりある	
		3	ある	
		2	あまりない	
		1	ない	
3 事業の進捗状況(目標に対する達成度) ○目標値に対してどの程度進んでいるのか。		5	大いに進んでいる	
		4	かなり進んでいる	
		3	進んでいる	
		2	あまり進んでいない	
		1	進んでいない	
4 事業の成果の波及効果 ○期待された成果は得られているか。 ○当初見込まれた分野以外や周辺地域での波及効果が得られているか。		5	大いに期待できる	
		4	かなり期待できる	
		3	期待できる	
		2	あまり期待できない	
		1	期待できない	
○ 事業の効果的かつ効率的な実施のために必要な改善事項				
①様々な機会、媒体を通じたPR活動の継続的な実施				
②ターゲットを明確にした制度の推進 (関係機関・団体との連携強化)				
③地域の実情に合わせた利用権の設定期間の選択				
④地域の合意形成の場やリーダーを活用した効率的な(面的)農地集積の推進				
総合評価	A	評価基準	A	一定の成果が期待でき、継続的な実施が必要(評価値の目安:70以上)
			B	今後の見通し等に問題があり、継続実施する場合には見直しが必要(評価値の目安:30以上~70未満)
			C	今後の成果が見込めないので、事業を中止すべき(評価値の目安:30未満)